

2014の秋、犬を愛する有志が鹿島で初めてワンちゃん主役のイベントを開催し、約200頭のワンちゃんて島がにぎわいました。イベントは昨年からまちづくり協議会が引き継ぎました。

どうして「まちづくり」と「ワンちゃん」がかかわるのでしょうか。

30年前、犬は「番犬」のイメージが強かったのですが、今では「家族」同様、いや家族以上の関係に変わりました。

2015の全国の犬の飼育数は約991万頭(社団法人ペットフード協会調べ)、同年の日本の0～8歳の人口合計が約946万人(総務省統計局調べ)です。

つまり、ワンちゃんの数日本の8歳までの子供の数より多いのです。

だからこそ協議会では、大事な家族であるワンちゃんが幸せに暮らせるまちづくりとして、今年から「人間と犬が共に幸せに暮らせるまち」をテーマに事業を進めます。

犬のこと、犬を取り巻く日本や世界の環境、飼育放棄や殺処分の現状などを知ってもらいたく、毎回テーマを変え情報発信します。

これをきっかけに、北条がワンちゃんだけでなくペット全般にやさしいまちを目指していきます。

ワンちゃん
まちづくり

じゅーいコラム

三好 紀彰先生(松山 ほうじょう動物クリニック)

～動物医療などの違い、日本と海外～

アメリカなどの大学病院実習や学会への参加、また海外で活躍する日本人の獣医さんとの意見交換を通し、日本と海外の動物医療の違いに驚くことが度々ありました。技術の差はあまりないのですが、教育に対する考え方の違いが大きいのです。日本の教育は、職人技のように個々で学ぶイメージですが、アメリカでは誰もが同じ技術を学べるシステムが確立しています。

スポーツ界では、日本は組織力、欧米は個人プレーが得意と言われますが、動物医療界で違うようです。さらに驚くことは、欧米のペットショップは基本的に犬や猫を販売せず、保護された犬・猫の里親会(譲渡)が主流なのです。世界から学ぶことはまだまだありそうです。

(次回は梶原動物病院、梶原富彦先生です)



ワンちゃんに関する知りたいことがありましたら、紙面にてお答えします。(紙面の都合で全てはお答えません)

まちづくり協議会広報部ワンちゃん編集チームにお便りください。

〒799-2430 松山市北条辻6 北条地区まちづくり協議会 「INOON」は年4回の発行予定。



私たちは人間と犬が共に幸せに暮らせるまちづくりを応援します。



梶原動物病院



動物たちの“幸せ”のために
松山 ほうじょう
動物クリニック



ワンちゃん教室

1時間目

犬と人間の関係は、幼少期からのしつけが重要です。「うちはバカ犬やけん、なんもいうこと聞かんのよ〜」。これは、大きな間違い。

犬も個性があり覚えが速い遅い、運動神経が良い悪いがあります。「犬との楽しい生活」の実現には、「正しいしつけ」が必要なのです。

『してほしいこと』は『犬がしたくなる』ように教育する。『してほしくないこと』は『犬がしなくていい』ように教育する。犬は素直な動物です。教えられたことしかできず、解らないことは本能のまま行動します。

ではどのようなしつけが必要なのか。今回は「正しいしつけ」をお伝えします。



01 予防接種は必要ない？

必要です。ワンちゃんに必要な予防注射は「狂犬病」と「混合注射」の2つ。狂犬病は、年に1回の予防接種が法的に義務付けられています。混合注射は、人で言うと予防接種のようなもので、病気にかかった時に、重症になる事を防ぎます。

02 室内で飼っていてもフィラリア予防は必要？

ずっと室内だから大丈夫！と思うのは間違いです。

ドアを開けた時や帰宅者の服にくっつき、蚊は室内に入ります。フィラリア症になると、長期間の治療が必要です。事前に予防しましょう！

03 ワンちゃんにマダニやノミがいるのをみつけたら粘着テープでとる？

無理にとると、皮膚にマダニやノミの口が残ったままになり、炎症の原因になります。まずは、かかりつけの動物病院へ行き対応してもらいましょう。

お悩み Q&A

Q 犬を飼いたい時、どこで迎え入れたら良いですか？

A ペットショップや、ブリーダーの他に、県の愛護センターや愛護活動団体の譲渡会に参加するのも1つです。譲渡により犬は、新たになに幸せな生活を送れます。素敵な運命の出会いをしてください。